

与謝野町公共施設白書

施設カテゴリー編



大規模集会施設

2 大規模集会施設

その1 施設の概要

与謝野町の大規模集会施設は、300 人規模の会議や講演などが開催できる生涯学習センター知遊館と勤労者総合福祉センター（野田川わーくばる）、そして中央公民館と旧加悦町の中央公民館（旧町時代は加悦町民会館）だった加悦地域公民館の 4 施設です。なお、中央公民館については、母と子のセンターと野田川体育館を一体的に管理しており、今回、項目によっては、純粋に中央公民館だけの数値である場合や、母と子のセンターと野田川体育館を合わせた数値である場合があります。

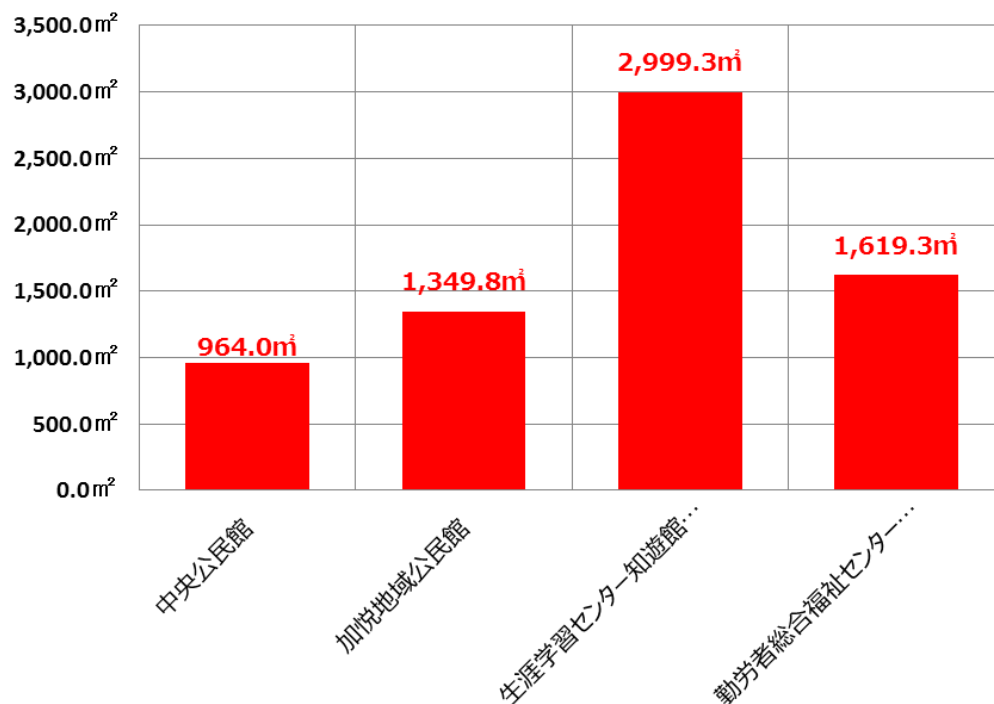
【大規模集会施設一覧】

施設名	所在地	面積（㎡）		建築年	運営形態
		敷地	延床		
中央公民館	四辻142番地1	1,468.0㎡	964.0㎡	S 57	直営
加悦地域公民館	加悦451番地 2	1,877.4㎡	1,349.8㎡	S 50	直営
生涯学習センター知遊館 （岩滝地域公民館）	岩滝2271番地	5,491.5㎡	2,999.3㎡	H 13	直営
勤労者総合福祉センター （野田川わーくばる）	四辻161番地	8,593.3㎡	1,619.3㎡	H 4	直営

合計 17,430.2㎡ 6,932.4㎡

※中央公民館については、母と子のセンターと野田川体育館を除いた数値です。

【大規模集会施設延床面積比較】





【各施設の経歴】

- 中央公民館・・・旧野田川町中央公民館であった施設です。
- 生涯学習センター知遊館・・・旧町時代から生涯学習センターと中央公民館を兼ねた施設です。
- 加悦地域公民館・・・旧加悦町中央公民館です。加悦町民会館と呼ばれていました。
- 勤労者総合福祉センター・・・平成 4 年に雇用促進事業団（現 雇用・能力開発機構）が建設した施設で、平成 17 年度に野田川町に有償譲渡されました。平成 4 年～平成 21 年度は「財団法人コミュニティ野田川」に業務委託していましたが、平成 22 年度以降は町直営施設になっています。

その2 施設の物理的状況

① 老朽化の状況

知遊館は平成 14 年度建設と比較的新しく、勤労者総合福祉センターも平成 4 年度に建設され、平成 23 年度に開催された国民文化祭に合わせて、外壁塗装や設備の改修を行っています。加悦地域公民館は昭和 50 年に建設されてから 40 年あまり経過していますが、平成 16 年の台風 23 号災害の時に被災し、その後改修を行っています。中央公民館については、平成 14 年度に改修を行ってはいますが、現在雨漏りなどの不具合や設備の老朽化が見受けられます。

【大規模集会施設老朽化一覧】

施設名	構造	老朽化状況			耐震性
		建築年	耐用年数到達	老朽化率	
中央公民館	鉄筋コンクリート造 2 階建	S 57	H 44	66%	有
加悦地域公民館	鉄筋コンクリート造 2 階建	S 50	H 37	80%	有
生涯学習センター知遊館 (岩滝地域公民館)	鉄筋コンクリート造 3 階建	H 13	H 63	28%	有
勤労者総合福祉センター (野田川わーくばる)	鉄筋コンクリート造 2 階建	H 4	H 54	46%	有

※老朽化率は（経過年数/耐用年数）で算出しています。100%を超えると耐用年数超過になります。

※耐用年数は鉄筋コンクリート造50年を想定しています。

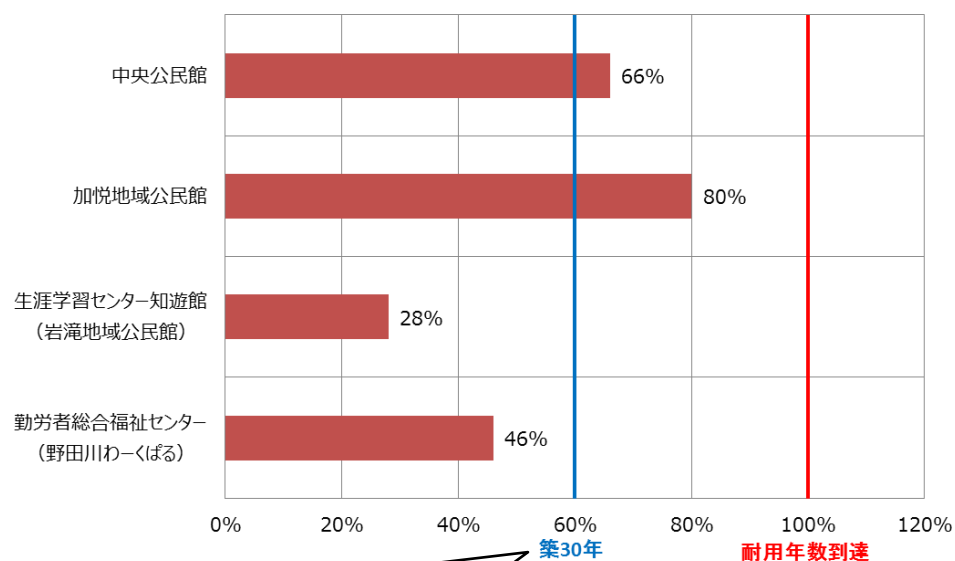
※中央公民館については、母と子のセンターと野田川体育館を除いた数値です。

※各施設の改修状況は耐用年数には考慮していません。各施設の改修状況は以下のとおりです。

中央公民館は平成14年度に改修を行っています。

加悦地域公民館は平成16年度に耐震化工事を行っています。

勤労者総合福祉センターは平成22年度に改修を行っています。



カテゴリー内の建物の構造が全て同じ場合、表記します。

中央公民館と加悦地域公民館は当初建設から30年が経過しています。特に中央公民館は雨漏りなどの老朽化が目立っています。

② 設備の状況

中央公民館以外の施設にはホールがあります。また、知遊館については、子育てふれあい室や工房など生涯学習の拠点施設ならではの設備があります。

【大規模集会施設設備状況一覧】

施設名	設備状況		
	ホール・会議室等	トイレの数	特記事項
中央公民館	大会議室、研修室、和室、生花室、多目的ルーム、ふれあいサロン	2箇所	図書館併設 体育館併設
加悦地域公民館	大ホール、憩いの間、会議室、日本間、研修室	2箇所	図書館分室併設
生涯学習センター知遊館 (岩滝地域公民館)	ホール、控室3部屋、研修室4部屋、視聴覚室、子育てふれあい室、栄養指導室、団体事務室、工房、展示室	4箇所	図書館分室併設
勤労者総合福祉センター (野田川わーくぱる)	多目的ホール、第1会議室、第2会議室、視聴覚室、教養文化室	3箇所	

※ホール・会議室等については、一般貸出を行っている部屋のみを記載しています。

※中央公民館については、母と子のセンターを含めた情報です。



中央公民館大会議室



加悦地域公民館大ホール



知遊館あじさいホール
(出初式の様子)



わーくぱる大ホール
(成人式の様子)

③ バリアフリー化の状況

全施設が２階以上の階層の建物ですが、エレベーターが設置されているのは知遊館のみとなっています。

【大規模集会施設バリアフリー状況一覧】

施設名	身障者 用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字 ブロック	エレベーター	その他
中央公民館	-	○	○	○	-	-	
加悦地域公民館	○	○	○	○	○	-	階段リフトあり
生涯学習センター知遊館 (岩滝地域公民館)	○	不要	○	○	○	○	幼児トイレあり
勤労者総合福祉センター (野田川わーくばる)	○	○	○	○	-	-	

※「○…設置済」、「-…未設置」を表しています。

※中央公民館については、母と子のセンターと野田川体育館を除いた情報です。

※知遊館は段差がないため、スロープの設置はありません。

④ 防災に関する状況

すべての施設が避難所として位置付けられています。

指定警戒区域内に位置している施設は、知遊館と勤労者総合福祉センターです。

【大規模集会施設防災状況一覧】

施設名	避難所指定		警戒区域の指定		
	水害	地震	浸水想定区域	土砂災害（特別）警戒区域 急傾斜地の崩壊 土石流	
中央公民館	○	○			
加悦地域公民館	※	○			
生涯学習センター知遊館 (岩滝地域公民館)	○	○	0.5m未満		
勤労者総合福祉センター (野田川わーくばる)	○	○	0.5～3.0m未満		

※加悦地域公民館については、防災計画上水害の避難所には指定されてはませんが、加悦区が避難所として使用される予定があります。（平成２７年度より）

その３ 施設の利用状況

中央公民館・加悦地域公民館・知遊館は社会教育施設であり、貸館機能のみならず各館が主催の事業を実施しています。一方で、勤労者総合福祉センターについては、貸館機能のみであり施設主催の事業は実施していません。

また、勤労者総合福祉センターを除く社会教育施設である３施設については、社会教育法上、施設の貸

出しに一部制限があります。（営利を目的とした事業への貸出し禁止など）

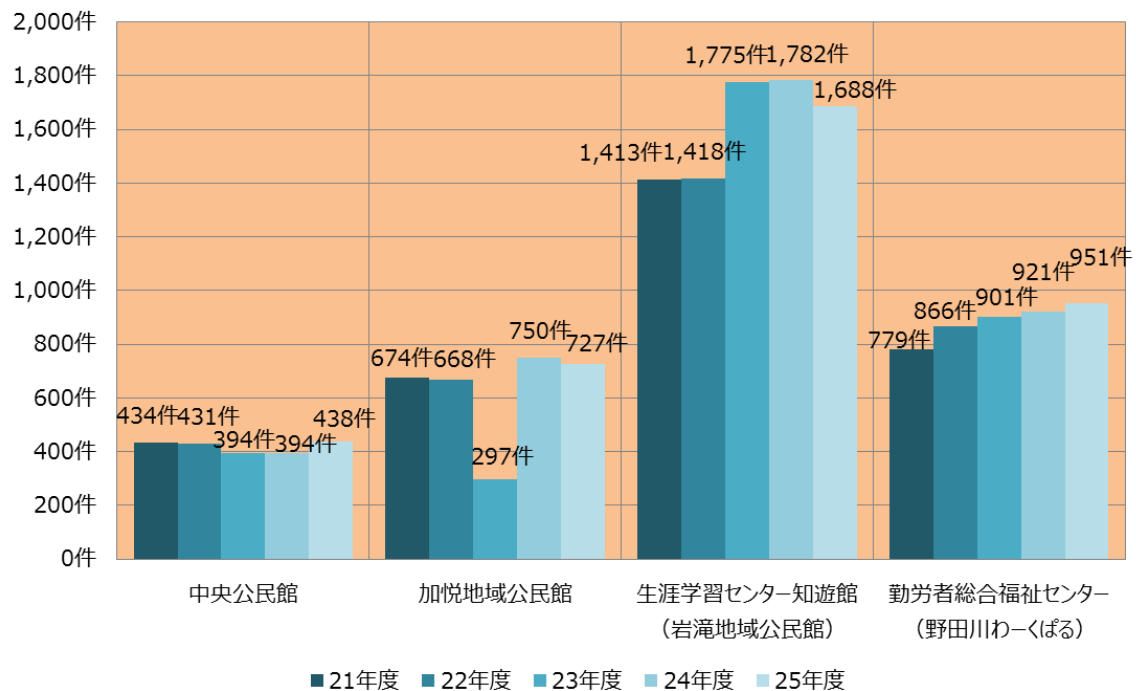
① 利用件数・利用者数

【大規模集会施設利用状況推移表】

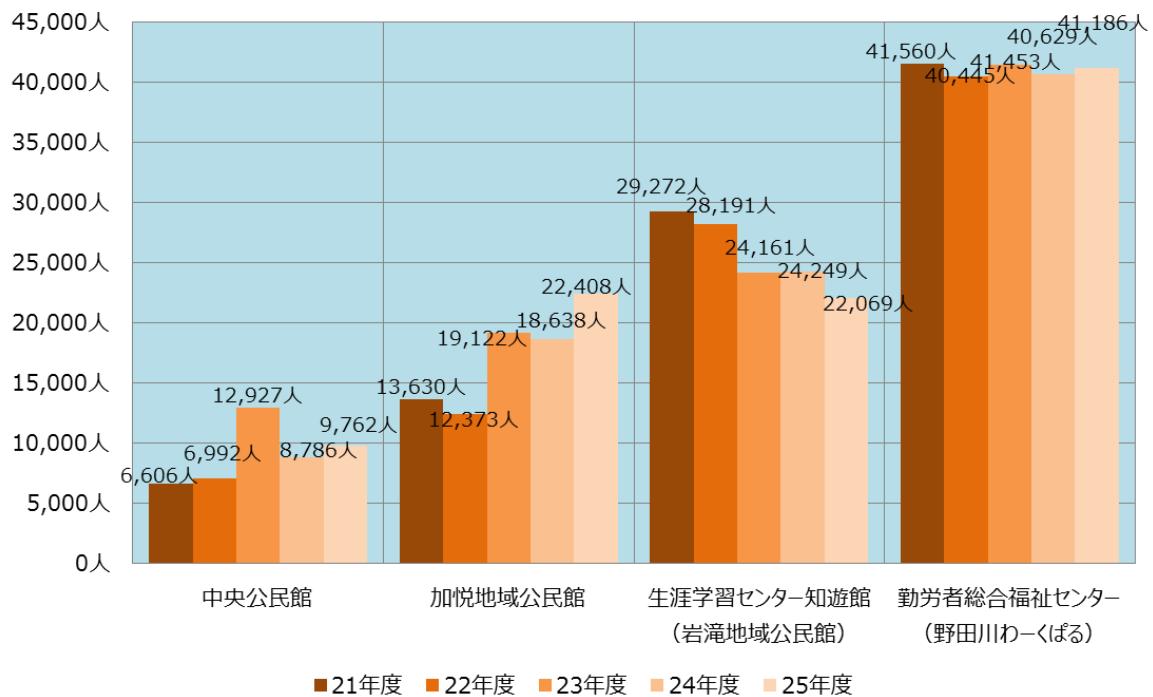
施設名	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
中央公民館	年間運営日数	306	307	306	306	306
	年間利用件数	434件	431件	394件	394件	438件
	年間利用者数	6,606人	6,992人	12,927人	8,786人	9,762人
	1日当たりの利用件数	1.4人	1.4人	1.3人	1.3人	1.4人
	1日当たりの利用者数	21.6件	22.8件	42.2件	28.7件	31.9件
加悦地域公民館	年間運営日数	307	307	307	306	305
	年間利用件数	674件	668件	297件	750件	727件
	年間利用者数	13,630人	12,373人	19,122人	18,638人	22,408人
	1日当たりの利用件数	2.2人	2.2人	1.0人	2.5人	2.4人
	1日当たりの利用者数	44.4件	40.3件	62.3件	60.9件	73.5件
生涯学習センター知遊館 （岩滝地域公民館）	年間運営日数	305	305	307	306	305
	年間利用件数	1,413件	1,418件	1,775件	1,782件	1,688件
	年間利用者数	29,272人	28,191人	24,161人	24,249人	22,069人
	1日当たりの利用件数	4.6人	4.6人	5.8人	5.8人	5.5人
	1日当たりの利用者数	96.0件	92.4件	78.7件	79.2件	72.4件
勤労者総合福祉センター （野田川わーくばる）	年間運営日数	307	308	309	308	307
	年間利用件数	779件	866件	901件	921件	951件
	年間利用者数	41,560人	40,445人	41,453人	40,629人	41,186人
	1日当たりの利用件数	2.5人	2.8人	2.9人	3.0人	3.1人
	1日当たりの利用者数	135.4件	131.3件	134.2件	131.9件	134.2件

※中央公民館については、母と子のセンターを含めた情報です。

【大規模集会施設利用件数推移グラフ】



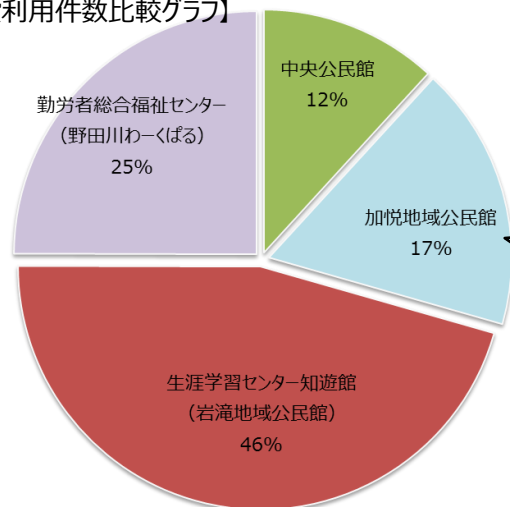
【大規模集会施設利用人数推移グラフ】



利用件数は知遊館が多い状況です。あらゆる用途に合わせた設備や部屋数を備えていることの表れだと言えます。一方で利用人数では野田川わーくぱるが多く、大規模ホールや企業・団体研修が多く実施されていることにより 1 件あたりの利用人数が多い施設であると言えます。

逆に中央公民館は野田川わーくぱるが近くにある影響からか利用件数・人数ともに低い印象になっています。

【大規模集会施設利用件数比較グラフ】



過去 5 年間の利用件数で比較すると知遊館とわーくぱるの利用が多いことがわかります。中央公民館、加悦地域公民館の割合はやや少ない傾向にあります。

② 利用用途など

中央公民館については、母と子のセンターと商工会館が併設されているほか、中央公民館の事務所内には野田川スポーツクラブの事務局が置かれています。また、加悦地域公民館については、2階の一室に適応指導教室が設置されています。

施設名	主な利用用途	継続的利用
中央公民館	各種団体の会議、サークル活動、町文化祭	商工会 野田川スポーツクラブ
加悦地域公民館	各種団体の会議、サークル活動、選挙投票所	適応指導教室
生涯学習センター知遊館 (岩滝地域公民館)	各種団体の会議、サークル活動、音楽イベント、 映画会、ギャラリー展示	
勤労者総合福祉センター (野田川わーくばる)	各種団体の会議、サークル活動、選挙開票所、 音楽イベント、映画会、企業によるセミナー等	

その4 コスト状況

① 管理・運営コスト

現在の大規模集会施設運営に係る管理・運営面での年間コストは以下のとおりです。

【大規模集会施設管理・運営コスト】

(単位：千円)

項目	中央公民館	加悦地域公民館	生涯学習センター知遊館
臨時職員賃金	5,216	5,216	8,418
光熱水費・燃料費	2,181	2,143	6,712
通信料・手数料	142	150	154
使用料・賃借料	18	41	119
消耗品費	57	100	251
備品購入費	48	0	0
賄・医薬材料費	0	2	5
修繕・維持補修費	213	1,222	512
委託料	681	882	4,052
指定管理料	0	0	0
その他	126	129	215
合計	8,682	9,885	20,438

項目	勤労者総合福祉センター	合計
臨時職員賃金	2,936	21,786
光熱水費・燃料費	4,119	15,155
通信料・手数料	100	546
使用料・賃借料	21	199
消耗品費	127	535
備品購入費	0	48
賄・医薬材料費	0	7
修繕・維持補修費	456	2,403
委託料	1,643	7,258
指定管理料	0	0
その他	434	904
合計	9,836	48,841

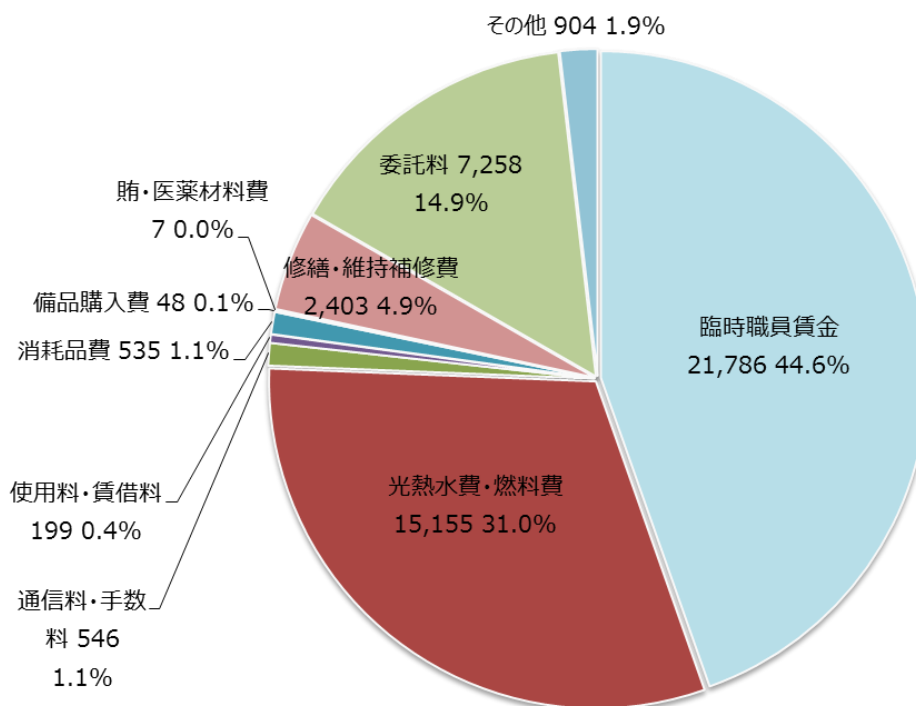
※平成25年度の実績額です。

いずれの施設も嘱託・臨時職員が配置されており、人数は中央公民館が4名、加悦地域公民館・知遊館が5名、わーくぱるが2名となっています（いずれも図書館分は除く。ただし、平成27年度は中央公民館・加悦地域公民館が2名、知遊館が4名、わーくぱるが2名）。

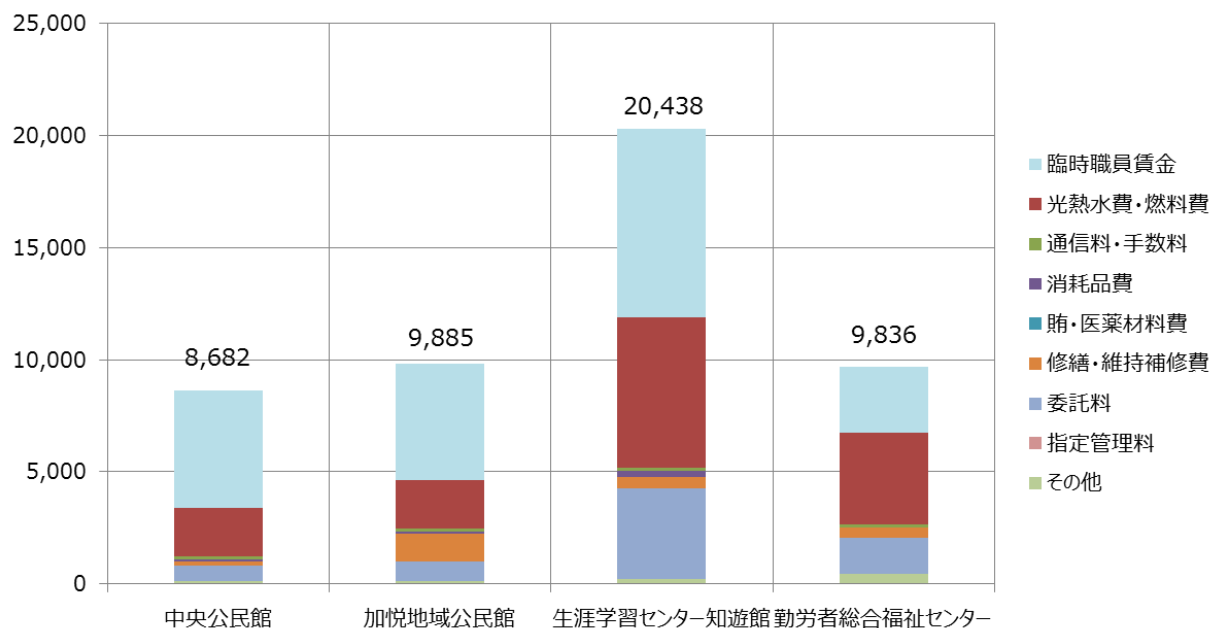
夜間休日の管理人については、中央公民館・加悦地域公民館は臨時職員賃金より支出し、知遊館・わーくぱるについては委託料から支出しています。委託料に関しては、知遊館とわーくぱるにおいては空調設備保守・可動椅子保守があるほか、知遊館についてはエレベーター保守もあるため高額となっています。

また、中央公民館については、併設する母と子のセンターと野田川体育館の管理も行っています。嘱託・臨時職員が両施設の管理運営を行っているほか、光熱水費（電気料金）についても両施設の分をまとめて支出しています。ただし、母と子のセンターについては、1階部分を使用している商工会が使用量相当額を負担しています。

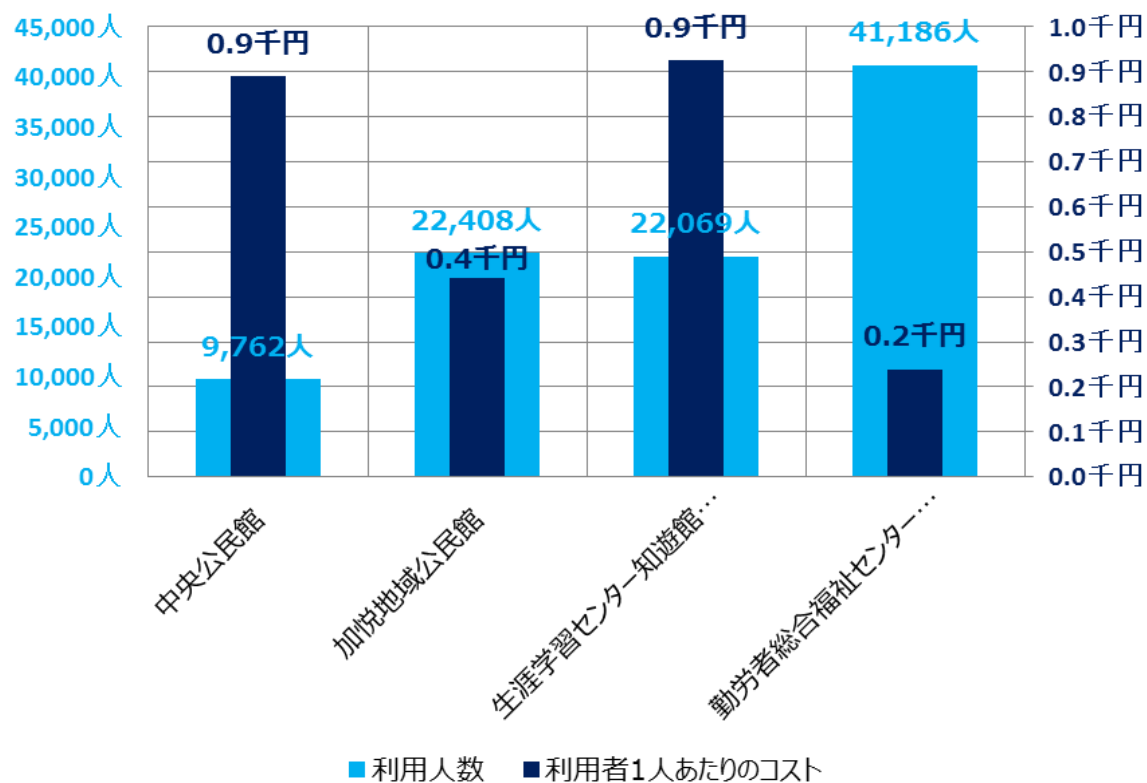
【大規模集会施設管理・運営コスト内訳グラフ①（単位：千円）】



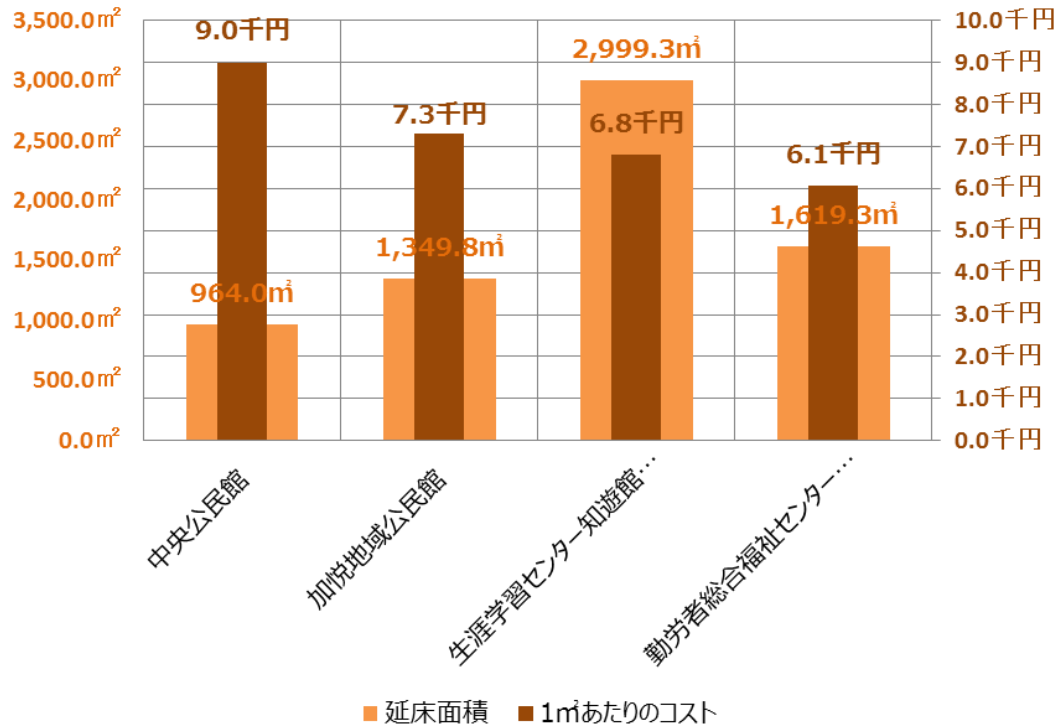
【大規模集会施設管理・運営コスト内訳グラフ②（単位：千円）】



【大規模集会施設利用者一人あたりの管理・運営コスト比較グラフ】



【大規模集会施設 1 mあたりの管理・運営コスト比較グラフ】



【参考：大規模集会施設収入】

(単位：千円)

項目	中央公民館	加悦地域公民館	知遊館	勤労者総合福祉センター
利用料金	191	408	1,039	3,858

※金額は平成25年度の実績額の平均です。

合計 5,496

※冷暖房使用料は収入に含めていません。

② 整備コスト（建替え・解体コスト）

【整備時期の考え方】

☆耐用年数到達年に同等施設（同じ延床面積）に建替え。

☆耐用年数経過している建物は5年以内に同等施設（同じ延床面積）に建替え。

☆建替える必要がないと考えられる建物は耐用年数到達時に解体（耐用年数を既に経過している場合は5年以内に解体）

【コストの考え方】

建替えコストは総務省明示のコストを参考に単価を設定しました。

○建替えコスト・・・40万円/m²（解体費用も含む：市民文化系施設）

○解体コスト・・・3万円/m²

これらの単価に現在の延床面積を乗じて算出しコストは以下のとおりです。

【大規模集会施設整備等コスト一覧】

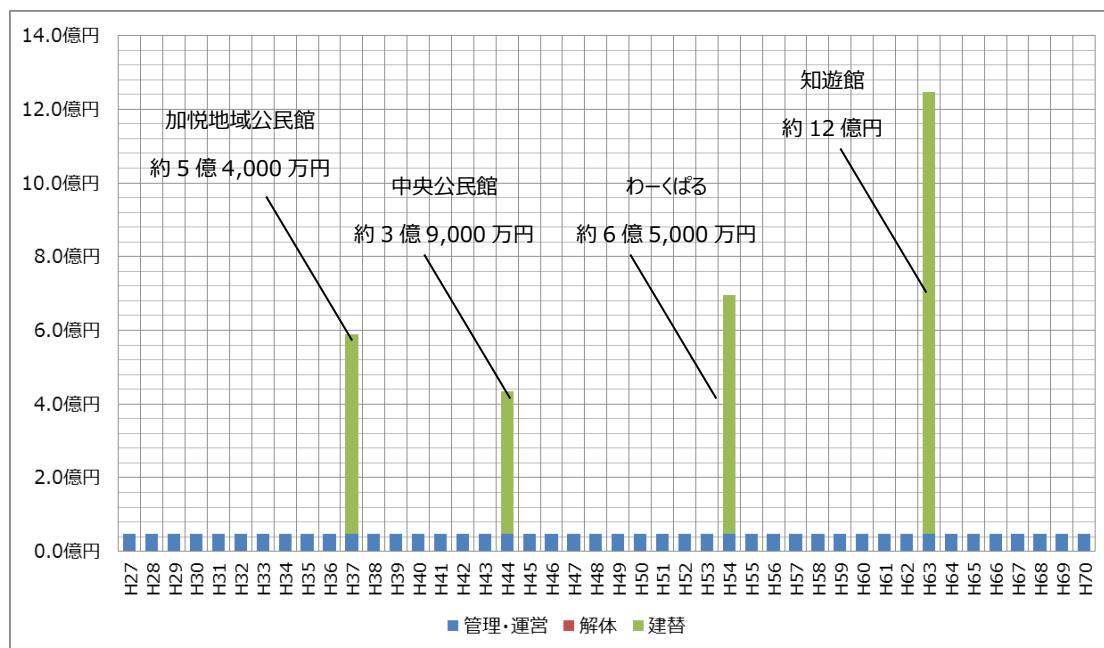
(単位：千円)

施設名	建築年	耐用年数	当初建設費	建替え		解体	
				実施年度	コスト (解体費含む)	実施年度	コスト
中央公民館	S 57	50年	170,000	H 44	385,580	参考	28,919
加悦地域公民館	S 50	50年	264,640	H 37	539,928	参考	40,495
生涯学習センター知遊館 (岩滝地域公民館)	H 13	50年	942,418	H 63	1,199,732	参考	89,980
勤労者総合福祉センター (野田川わーくばる)	H 4	50年	530,000	H 54	647,720	参考	48,579
合計					2,772,960	合計	207,972

※中央公民館については、母と子のセンターと野田川体育館を除いた数値です。

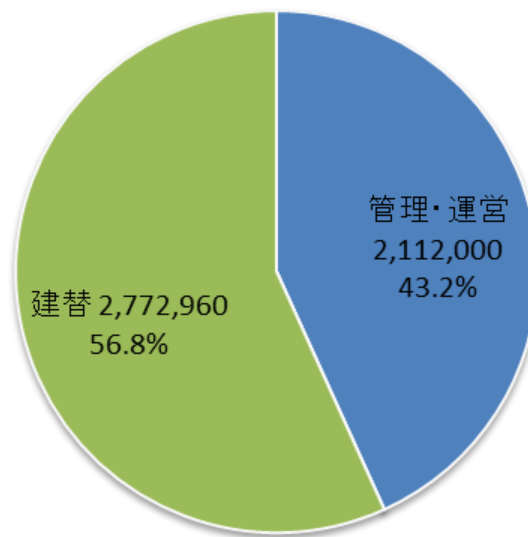
現況施設を維持した場合、建替えコストの合計約 27.7 億円です。管理・運営コスト（平成 25 年度実績をベースに横置き）も含めた将来コストの推移は以下のとおりです。

【大規模集会施設将来コスト推移表】



コスト総額約 48.8 億円（整備 27.7 億円、解体 0 億円、管理・運営 21.1 億円）

【大規模集会施設将来コスト内訳グラフ（単位：千円）】



その5 まとめ

1 現状・課題

●利用状況

各施設の利用件数については、中央公民館と加悦地域公民館がほぼ横ばいであるのに対し、知遊館と勤労者総合福祉センターは増加傾向にあります。知遊館の利用件数が他の施設より比較的多いですが、これは知遊館事業として年間を通してギャラリー展示を行っていることも影響していると考えられます。

また、利用者数については、勤労者総合福祉センターがほぼ横ばいであるのに対して、中央公民館と加悦地域公民館は増加傾向、知遊館は減少傾向となっています。割合で見ると、勤労者総合福祉センターと知遊館の利用が多く、中央公民館の利用が少ない傾向にあります。

●建物状況

中央公民館と加悦地域公民館は、築 30 年以上が経過し、施設の老朽化が進行しています。

また、設備面では、全ての施設が 2 階建以上の建物であるにもかかわらず、エレベーターを備えている施設は知遊館のみとなっています（ただし、加悦地域公民館については階段リフトが設置されています）。

●防災状況

全ての施設が避難所に指定されていますが、知遊館と勤労者総合福祉センターについては、河川氾濫時の浸水想定区域内に位置しています。

●コスト状況

施設全体の管理・運営コストは年間約 4,900 万円で、施設収入は約 550 万円となっています。どの施設も臨時職員賃金の割合が高くなっています。

整備コストについては、今後すべての施設を今のまま使用し、それぞれ耐用年数が到達すれば建替える想定とした場合、建替コストだけで約 27.7 億円かかる見込みです。

●現状のまとめと今後の展望

大規模集会施設は年間を通じて多くの会議・研修・イベントが行われることから、住民のみなさんにとっても、また行政運営を行う上でも重要な施設と言えます。その中で生涯学習センター知遊館と勤労者総合福祉センターは利用度も高く、全町的な認知度もあり、大規模なイベントや研修会などを行う上で中心的な施設と言えます。

加悦地域公民館については、全町的というよりは加悦地域での利用が多い施設で、今後は地域性をより高めていく方法（地元でもっと活用してもらう等）も有効であると考えます。

中央公民館については老朽化が目立ち、利用度も低い傾向にあります。勤労者総合福祉センターが近くにあることから、単に集会施設として見た場合に重要性が低い印象を受けます。中央公民館としての在り方に立ち返り、その必要性を再度検討した上で、今後に残していく施設なのか決めていく必要がありますが、併設された図書館野田川分室や野田川体育館の利用が多く、商工会館も一体となっていることから、単純に中央公民館だけの現状認識では検討できない問題があります。